

本機の特長と楽しみかた

確認

本機の特長と楽しみかた

4チューナーを搭載

弱電界受信性能、高速移動受信性能を向上しました。ブレない綺麗な映像の受信エリアが大幅に拡大されます。

地上デジタル放送に対応*

地上デジタル放送を高画質・高音質に楽しむことができます。

※：本機には電話などの通信機能がないため、双方向データサービスに対応していません。

ワンセグに対応**1

従来の地上デジタルテレビ放送に加え、ワンセグにも対応しています。

また、地上デジタルテレビ放送↔ワンセグへの自動切り換えまたは手動切り換えにより、受信エリアが拡大します。(2008年3月までは、サイマル放送**2が運用されましたが、2008年4月からは番組によって異なった放送が行われる場合があります。)

※1：「ワンセグ」の番組は、地上デジタルテレビ放送と同じものですが、あくまで携帯端末のような小画面を対象とした簡易動画です。ハイビジョンではありません。そのため、お使いのナビやリア席モニターでの表示画質が地上デジタルテレビ放送とワンセグでは、大きく異なります。本機は、ワンセグのデータ放送には対応していません。

※2：サイマル放送とは、同じ時間帯に地上デジタルテレビ放送とワンセグでそれぞれ同じ内容の番組を放送することです。

ホーム／おでかけモード

いつも見ている番組がおでかけ先でも、いつもと同じチャンネルで視聴できます。(放送局によっては、放送日時の変更および地区独自の番組を行っている場合があります。)(P.24ページ)

オート放送局サーチ機能搭載

視聴中に放送が映らなくなったとき、リモコンを操作しなくても自動で走行エリア付近の放送局をサーチします。(P.27ページ)

●「ホーム」モード時

走行エリア付近の中継局をサーチします。同一放送局であっても中継局によっては物理チャンネルが異なる場合があります。走行付近の物理チャンネルがわかっているときは、リモコン操作で中継局を選択できます。(P.28ページ)

●「おでかけ」モード時




走行エリア付近の中継局をサーチして、同一放送局がなければ同じ系列局(P.54ページ)の放送局を探します。

- ・同じ系列局であっても別の番組を放送する場合があります。
- ・系列局サーチでは、単一系列局エリアからクロスネット局(複数の系列に入っている放送局)エリアへ出入りするときは、クロスネット局が受け持っている、どれか一つの系列局しか引き継ぐことができません。尚、クロスネット局は、放送局一覧(P.34ページ)系列名で「クロスネット」と表示されます。

●電波の状態によっては、中継局や放送局のエリアを外れても、途切れ途切れに映り続ける場合があります。そのときは、手動で放送局サーチを行ってください。(P.28ページ)

デジタル放送を楽しむ (P.28~33ページ)

デジタル放送には、主に3種類の放送(サービス)があります。

<p>テレビ放送</p>  <p>従来からのテレビ放送です。</p>	<p>データ放送</p>  <p>テレビ放送が表示されることもあります</p> <p>お住まいの地域の生活情報やクイズ、天気予報、ニュースなどの放送です。</p>	<p>ラジオ放送</p>  <p>静止画など 音楽など</p> <p>音声を主とした放送です。 ※本機は実用化試験放送にてVHF帯域で提供している地上波のラジオ放送は受信できません。</p>
--	---	---

- 本機は、地上デジタルチューナーです。
- B-CASカードを挿入しないと地上デジタル放送は視聴できません。(P.18ページ)
地上デジタル放送は、従来の地上アナログ放送(VHF、UHF)やBSアナログ放送と違い、映像や音声をデジタル化することで、高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しむことができます。
- テレビ放送で Data を押すと、データ放送を表示できる場合があります。この場合、現在のテレビ放送に関連した情報などが表示されます。(ワンセグは対応していません。)
- 番組表からの選局やチャンネル選局でご覧いただける独立データ放送では Data の操作は不要です。
- ラジオ放送は、BSデジタルと110度CSデジタルや、VHF帯域を使って実用化試験放送にて提供しているデジタルラジオなど、一部でのみ、実施されています。(2009年3月現在)
- 本機はBSデジタルと110度CSデジタルや、実用化試験放送にて提供しているVHF帯域のデジタルラジオ放送には対応していません。
- 本機には電話通信機能がないため、双方向データサービスに対応していません。

番組表を使う

(P.30、31ページ)

本機に接続した映像機器の画面上に一覧表示します。(受信ができる放送局で、地上デジタルテレビ放送は最大8日分、ワンセグは1局あたり最大10番組)

- 番組表から現在、放送中の番組の選局ができます。
- 地上デジタルの番組情報は地上デジタル放送と一緒に送られています。
※本機はGガイドのサービスに対応していません。

便利な機能を使う

(P.26ページ)

リモコン操作をせずにワンセグに切り換えることができます。(受信モード自動切換機能)

- 受信モードを「自動切換」に設定すると、電波状態を感知して地上デジタルテレビ放送とワンセグを自動で切り換え、同じ番組を表示することができます。

地上デジタル放送とワンセグ

	1チャンネル (13セグメント)												
地上デジタル放送	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
地上デジタルテレビ放送 (HDTV放送時)													
ワンセグ													

- 地上デジタル放送とは、UHF帯の電波を使って行う放送で、関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。高品質の映像と音声、更にデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。(2009年3月現在)
- 「ワンセグ」とは、携帯電話など移動体端末向け地上デジタル放送サービスの名称です。地上デジタル放送では、1チャンネルをHDTV放送時は12セグメントを使用し、残りの1セグメントを使用するため、このように命名されました。

確認

本機の特長と楽しみかた